

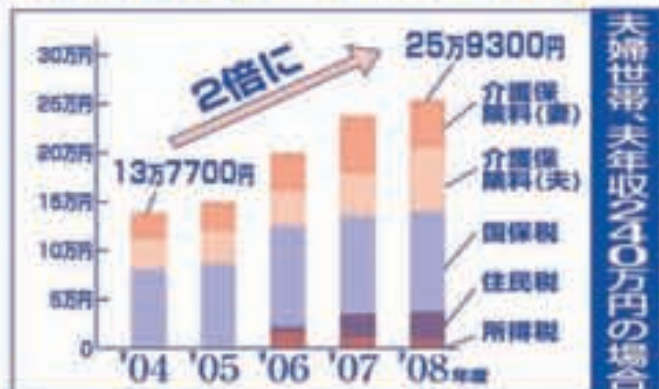
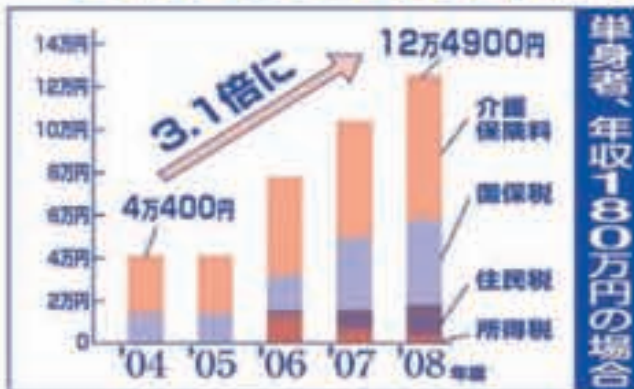
# こんにちは 鈴木ゆうじです



発行 日本共産党八王子市議団  
 連絡先 八王子市元本郷町3-24-1  
 控室 TEL.620-7317 FAX.626-3398  
 党事務所 TEL.642-6344 FAX.646-8055  
 ホームページ http://www.cpi-media.jp/hachioji/

自宅 〒193-0826 元八王子町2-3323-8  
 連絡先 Tel.669-7058 Fax.662-2451  
 メール me480278@members.interq.or.jp

## 雪だるま式の高齢者負担増 ('04~'08)



市民のくらしに増税と負担増を押しつける一方で、八王子駅南口再開発事業には、国・都・市あわせて今後172億円もの公費がつぎ込まれる計画であることが明らかになりました（06年度は6億3千万円）。再開発ビル（市民ホールミニ市役所含む）・駅前整備・ペダストリアンデッキなど総事業費は350億円とされ、およそ半分が税金でまかなわれる計算です。市は、「民間の事業であり税金

## 八王子駅南口再開発 公費投入172億円も

それなのに

小泉内閣の税制改悪で、老年者控除の廃止などが行なわれ、65歳以上の高齢者に増税が押し寄せます。しかも、住民税が非課税から課税になると、連動して介護保険料、国民健康保険料も引き上げられます。上の二つのグラフをご覧ください。負担増は3年間続きます。

### 障害者控除認定で負担軽減を

市は、こうした負担増に対し、「国において激変緩和措置がとられている」というだけで、独自の軽減策は何も行なおうとしていません。日本共産党は、この雪だるま式負担増から高齢者のくらしを守る方策を求めました。日本共産党は、要介護者が障害者手帳をもたなくても税金の控除が受けら

れる「障害者控除認定制度」を国税庁のパンフレットの記述や他の自治体の例も紹介して実現を迫りました。控除が認定されれば、税金の負担が減り、介護保険料や利用者負担を軽減することが出来ます。市は「独自に判定することは難しい」と言いますが、実施している自治体では要介護認定の資料を使って認定しています。市がやる気になればすぐにできるのです。

2月28日から3月29日まで第1回定例市議会が行なわれ、2006年度予算案などが審議されました。予算案の特徴と問題点、日本共産党市議団の主な質疑や意見書・請願の結果など、あらましをお知らせします。

# 庶民大増税が高齢者を直撃 負担の軽減こそ自治体のしるべき



八王子駅南口再開発ビル 完成予想図(市広報より)

投入額をたいしたことはない」と言ってきたが、とんでもありません。「ミニ市役所」を再開発ビル内に設置する計画についても、市の当初案

に対し、再開発準備組合から「もっと広い面積に」と言われてワンフロア分を市が取得する方向になったことが明らかになり、事業推進のために公費の投入が無原則に大きくなっていくのではないかと追及しました。

自民、公明、市民・民主クラブの議員らは「市民会館の座席数を増やせ」「道路もグレートアップを」とも要求しました。

# 住民要求全面に予算議会取組む



## 自由通路・駅周辺整備など 一部予算化される



高尾駅南北自由通路と駅前及び初沢踏切切り整備についての予算が下記の通り決まりました。

鈴木ゆうじ議員は、予算特別委員会で南北自由通路の早期実現を求めました。

市は当初、高尾駅南口駅前広場の整備を優先していましたが、市民が「自由通路の整備を早くしてほしい」と訴えたことを受け、市は当初の計画を変更し、自由通路の整備を優先する方針を明らかにしました。

また、駅前広場の整備は西側道路の踏切切替までを整備するとしていますが、正面入り口の幅が予定されているとの説明がありました。鈴木議員は、「入り口の幅が狭いままでは危険」と指摘し、幅の拡大を求めました。

高尾駅北口広場・自由通路整備	事業期間	平成16～20年
18年度予算に計上された主な経費		
北口駅前広場整備	8024万円	
市道浅川線拡幅	1億9221万円	
初沢川改修	1806万円	
自由通路整備	200万円	

## 小津のバス路線存続もとめる



西東京バスは思方、小津、美山町のバス路線の再編計画を昨年暮れ町会に提示しました。小津の地域は廃線が前提の計画であり、とても納得できないとして反対運動が起きています。

鈴木ゆうじ議員は、署名運動に取り組みバス事業者、八王子市、国土交通省にそれぞれを訴え、路線の存続を求めました。

市は当初、路線の再編計画を提示しましたが、市民が「小津の地域は廃線が前提の計画であり、とても納得できない」として反対運動が起きています。

鈴木ゆうじ議員は、署名運動に取り組みバス事業者、八王子市、国土交通省にそれぞれを訴え、路線の存続を求めました。

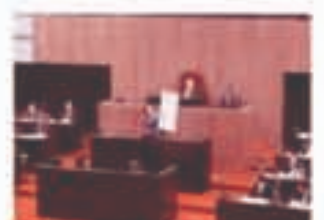
## 恩方・川口・加住の地域事務所 統廃合は市民への約束違反

市は、恩方・川口・加住の地域事務所を統廃合する計画を提示しました。市民は「地域事務所は、16ある地域事務所のうち10箇所を廃止統合する計画です。かつて町村合併した当時、こうした事



富士見町の交通システム 黒須市長は今年度中にプランをまとめる予定です。

## 残土処分場開発規制の新条例つくと約束



「間の勢力が動く」とマスコミも取り上げ、法違反や脅迫があり逮捕者まで出ている高月町の残土処分場開発、また、日沢町でも次々と山林が切り倒され急傾斜地に残土が運び込まれています。いずれの土地も市街化調整区域で、市の基本計画では開発を抑制する地域とされています。

市は、東京が許可を出しています。鈴木ゆうじ議員は、現在ある市の残土条例

が機能していないことを指摘し、都の自然保護条例や森林法との併用適用を求めると同時に、新しい条例の必要を訴えました。市長は、事業者がきちんと法や条例を守ってもらうことが大切だと述べるとともに、新条例をつくり厳正に対応すると約束しました。



日本共産党市議会議員  
**鈴木勇次(ゆうじ)**  
 毎月無料法相談を行っています 御利用下さい。

### アンケートの要望 早速、まちなみ調査

日本共産党が行ったアンケート調査でたくさんの要望が寄せられました。

各地域の共産党支部と議員が協力し、まちなみ調査を行っています。

鈴木ゆうじ議員は、大沢川通りの歩道・無誘導の道の補修要望や「中央高連元バス停から新橋方面にも乗車できるように」などの要望に基づき、15ヶ所の調査を行いました。

「横断歩道を付けて」「カーブミラーの設置を」「水があふれいこ、道が狭い」「道の拡幅を」「道路の舗装を」などの要望が実現しました。（写真は主なもの）

生活道路舗装整備(四野)

水防管敷設(橋本)

横断歩道設置(元八王子)

この1年で実現した要望